

# 三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権に於ける 絶対評価審判方式 (AJS3.0J)の採用について

JDSF 新審判基準委員会  
委員長 佐倉 文彦

## はじめに

世界ダンススポーツ連盟 (WDSF) では、ダンススポーツのオリンピック参加を目指して審判システムの改革を行っています。これは JDSF が 2007 年に開発して世界に提案し、2010 年のアジア大会でも使用された方式をベースに微修正が行われてきたものです。

絶対評価審判方式のコンセプトは、

- ① IOC の承認を得ている ISU の審判方式を基盤とする
- ② 段階を経て実行できる可能性・実現性のあること
- ③ 客観的な評価に向けた改善
- ④ 透明度の改善
- ⑤ IOC, メディア、観客が審判への理解を深められること
- ⑥ 選手やトレーナーに建設的なフィードバックの提供が可能 なこと

現在、WDSF では審判システム AJS3.0 となっていますが、

JDSF では AJS3.0 とともに、日本提案による一般減点を含めた AJS3.0J により審判が行われます。



## 2021 年度の三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権 決勝の競技順と演技時間

ラテン＝サンバ/ソロ競技、チャチャチャ/グループ競技、パソドブレ/グループ競技、ルンバ/ソロ競技、  
ジャイブ/グループ競技

スタンダード＝ワルツ/ソロ競技、ヴィエニーズワルツ/グループ競技、スローフォックストロット/グループ競技、  
タンゴ/ソロ競技、クイックステップ/グループ競技

演技時間＝グループ競技 1 分 45 秒 (パソドブレは第 3 ハイライト)、ソロ競技 1 分 15 秒を基本として、状況により統括責任者が決定。

## 審判団の役割

**統括責任者**：審判団を統括し、進行管理など全体管理を行います。

**レフェリー**：競技会のレベルの判定や、ビデオによる一般減点評価の判定を行います。また競技会後に各審判員のレビューを行い、結果の確認を行います。

**審判員**：8 名または 10 名。各審判員は、4 つの評価基準 (PCS) のうち指定された 2 つの評価基準 (PCS) を規定に基づき採点します。

**ゲーム・マネージャー**：新審判方式の採点に関する責任者。

## 採点の概要

三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権の準決勝と決勝 (ソロ・全員競技) ともすべて同じ採点および集計方法を用います。審判員 8 名または 10 名、4 つの評価基準 (PCS : プログラム・コンポネツ・スコア) を 10 点満点 (0.25 刻み) で、2 つの評価基準 (PCS) に対して審判員の半数が採点します。同じ評価基準 (PCS) 担当者の採点の「中央値」か

ら 1.5 超離れた点数を除外し平均した点数をその評価基準(PCS)評価とし、4つの評価基準(PCS)の合計(減点があればそれを差し引き)がその種目の点数、5種目の合計得点で競われます。

### 評価基準(PCS)の採点 Scale (世界標準による 0.25 刻み)

1点=Very Poor(非常に不十分)~10点=Outstanding(傑出)にて評価。

詳細は4つのPCSについてWDSFによる"JUDGING COMPONENTS,

PERFORMANCE ASSESSMENT STANDARDS (PAS) AND INDICATIVE QUALITIES (IQs)"に準拠する。

評価基準(PCS)	評価項目		採点
	スタンダード	ラテン	
① TQ: テクニカル・クオリティ (技術的な質の高さ) (Technical Quality)	1. Posture 2. Dance Holds 3. Centre 4. Balance 5. Foot Skills (Foot Action and Foot Placement) 6. Body Actions 7. Drive Actions 8. Preparation to Move 9. Rise and Fall 10. Swing 11. Pivot/ Pivoting Actions/Continuous Spin 12. Skilled Figures	1. Posture 2. Dance Holds 3. Balance 4. Foot Actions 5. Latin Actions 6. General Actions 7. Preparation-Action-Recovery 8. Spins and Turns 9. Isolation/Coordination 10. Skilled Figures 11. Dynamics 12. Lines and Extended Lines	0.00 ~10.00
② MM: ムーブメント・トゥ・ミュージック (音楽に対するムーブメント) (Movement to Music)	1. Timing/Shuffle Timing 2. Rhythm 3. Musical Structure	1. Timing/Shuffle Timing 2. Rhythm 3. Musical Structure	0.00 ~10.00
③ PS: パートナリング・スキル (二人の調和性) (Partnering Skills)	1. Physical Communication 2. Overbalance/Counterbalance/ Holds/Drops 3. Time and Space 4. Consistency	1. Physical Communication 2. Overbalance/Counterbalance/ Holds/Drops 3. Use of Space 4. Synchronization 5. Consistency	0.00 ~10.00
④ CP: コレオグラフィ・アンド・プレゼンテーション (振り付けと演出) (Choreography and Presentation)	1. Structures and Composition 2. Non Verbal Communications-NVC 3. Positioning -Floor Craft 4. Characterization 5. Energy Application 6. Atmosphere	1. Structure and Composition 2. Non Verbal Communications-NVC 3. Positioning -Floor Craft 4. Characterization 5. Energy Application 6. Atmosphere	0.00 ~10.00

### 一般減点項目

- ① 転倒: -2点(最大-6点)(自責による転倒)
- ② 中断: -1点(5秒程度以上の中断)
- ③ 長時間の中断: その種目の総得点を失う(途中棄権など約30秒以上演技しなかった場合)
- ④ 服装違反: -2点/種目
- ⑤ 妨害: -2点/回(最大-12点)(全員競技のみ:LOD マナー違反等による他選手への大きな妨害)

- ⑥ エラー：-0.5 点/回(最大-3 点)(躓き、ステップミス、バランスロス、スリップ、ふらつき、リフト、コネクションロス、音楽の調子はずれ、軽度の妨害、場外での演技、出遅れ、早い演技終了、その他見苦しい失敗(ドレスが顔にかかったまま 8 小節程度以上踊るなど)

## 5 種目総合得点表

競技 1 (ソロ)		競技 2 (グループ)		競技 3 (グループ)		競技 4 (ソロ)		競技 5 (グループ)		Total
PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	
40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	最高点
40.00		40.00		40.00		40.00		40.00		200.00

## 「ビデオ判定」と WDSF の今後の発展

WDSF では、減点評価については未だ検討中ですが、日本ではリアルタイムビデオ技術を用いて減点の「ビデオ判定」を導入しています。レフリーまたは審判員の一人でも減点が疑われる演技を見つけた場合は、ビデオによる確認が行われ、レフェリーにより減点が判定されます。

WDSF では日本の方式をベースとして分析・評価しながら改善を進めていく予定です。

なお、けがなど応急手当が必要な場合は、規程によりメディカルタイムアウトが認められます。詳しくは実施規定を参照ください。

(URL : [https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/04/shinshinpan3.0J\\_Rev3.pdf](https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/04/shinshinpan3.0J_Rev3.pdf))

